

## 世界糖尿病デー イベント開催のお知らせ



昨年イベントの様子

11月14日の「世界糖尿病デー」に合わせて、下記のとおりイベントを亀田クリニック1階で開催いたします。どうぞ気軽にお立ち寄りください。

日時：11月14日(水) 10:00～13:00

場所：亀田クリニック1階

内容：血糖測定、栄養相談、お薬相談、歯周病チェック、かんたん足腰チェック

＊歯科衛生士ミニ講座 10:00～/11:00～(10分程度)

＊糖尿病専門医ミニ講座 12:00～(10分程度)

また、恒例の「ブルーサークルランチ(ヘルシーメニュー)」も11月5日(月)～15日(木)(ただし、11日(日)除く)の間、亀田総合病院Kタワー13階レストラン「亀楽亭」で1日限定20食提供いたします。ぜひ、この期間にご賞味ください。

## がん就労支援講演会のご案内

がんになっても就労継続ができる方法を一緒に考えてみませんか？ 11月20日(火)午後1時半から亀田総合病院Kタワー13階ホライゾンホールを会場に、「がん就労支援講演会」を開催いたします。(定員50名、参加費無料、要申込み)

「がんと診断されても働き続けるために～知っておきたいこと～」をテーマに、第1部では「副作用と上手につき合う～抗がん剤治療と副作用のはなし～」について当院薬剤部の塚田麻実薬剤師が講演いたします。第2部では社会保険労務士でがん経験者の近藤明美先生より「がん患者さんの仕事とお金～知っておきたい制度～」についてご講演いただきます。興味をお持ちの方はどうぞご参加ください。



なお、当日参加も歓迎いたしますが、人数把握のため事前申し込みにご協力をお願いします。参加を希望される方は、11月16日(金)までに氏名と連絡先を添えて下記までお申し込みください。

【申込み・問い合わせ先】

亀田総合病院 がん拠点病院推進センター

(担当：黒川・大橋・唐鎌)

TEL：04-7099-1230 / FAX：04-7099-1231

## インフルエンザ予防接種 予約受付中

毎年、冬から春はインフルエンザの流行シーズンです。予防接種はインフルエンザを発症する可能性を減らし、もし発症しても重症化を防ぎます。

当院の予防接種期間は、**10月22日(月)から12月26日(水)まで**となります。ワクチン接種のご予約は予約センター(04-7099-1111/8:00～17:00〔日曜・祝日除く〕)まで。

## 停電のお知らせ

高圧電気設備定期点検のため、下記日程で停電が発生します。停電時はエレベーターが使用できませんので、ご注意ください。また各店舗の営業態勢も変わります。利用者の皆様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

■10月27日(土) 13:30～16:30 **Kタワー** が停電します

「亀楽亭」(11:00～13:00/17:30～20:30で営業)

「デリカ」(11:00～13:00で営業)

「タリーズコーヒー」(7:30～12:30で営業)

「介護ショールーム・パオラ」(9:00～13:00で営業)

「亀田ホームケアサービス事業所」(通常営業)

「亀田ホームケアサービス居宅介護支援事業所」(通常営業)

「5階 美容室」(13:00以降はパドゥ ラ・プラージュ対応)

■10月28日(日) 13:30～16:30 **パーキング棟** が停電します

■11月10日(土) 9:00～12:00 **B棟** が停電します

「スヴェンソン」(臨時休業)

■11月10日(土) 13:30～16:30 **A棟・L棟** が停電します

「ミコミコ」(臨時休業) / 「ローソン」(通常営業)

■11月11日(日) 13:30～16:30 **S棟** が停電します

「パドゥ ラ・プラージュ」(9:00～13:00で営業)

※Kタワー5階美容室(13:00～休業)

「コインランドリー」(7:00～12:00で営業)

## 市民フォーラムのご案内

11月10日(土)午後1時半から亀田総合病院Kタワー13階ホライゾンホールにて、「認知症」をテーマに市民フォーラムを開催いたします。

参加を希望される方は11月3日(土)までに電話(04-7099-1230)またはFAX(04-7099-1231)まで氏名、性別、年齢、所属、電話番号を添えてお申し込みください。



消化器外科 角田 明良

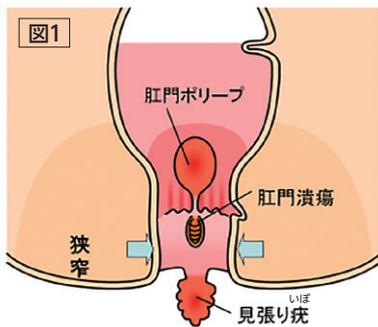
### 第3話 れっこう 裂肛

#### 裂肛とは

裂肛とはいわゆる「切れ痔」のことです。誰も硬い便を排泄するとき肛門が切れて、痛みと出血を経験することがあると思います。ほとんどの場合は4～5日もすると自然に治癒してしまいます。これを急性裂肛といいます。一方、2～3か月以上にわたって治癒しないものを慢性裂肛といいます。

#### 裂肛は肛門のどこが切れるのですか

裂肛は長さ3～4cmある肛門の最下端にできる「きず」です。慢性裂肛では裂肛の脇にポリープや皮膚の余りが認められることが多いです(図1)。好発部位は男性では肛門の後方、女性では肛門の後方と前方です。



#### 裂肛の症状はどのようなものですか

排便時の痛みと出血が主症状です。慢性裂肛では掻痒感(かゆみ)があるのも特徴的です。また罹患暦が長いと肛門が狭くなって便が出にくくなる場合があります。

#### 裂肛の内科的治療は何ですか

急性裂肛では、食事療法で便秘を改善します。必要に応じて緩下剤やステロイドを含む軟膏を使っただきます。慢性裂肛では、内肛門括約筋が緊張しており、このため裂肛周囲の血液の循環が不良であることが、難治の背景になっていることが多いです。内肛門括約筋の緊張を緩和する目的で、当院ではジルチアゼム・ゲルを薬剤部において作ってもらっています。ジルチアゼム・ゲルを6週

間使うことで慢性裂肛が治癒する率は70%です。無効な場合は手術を考慮します。

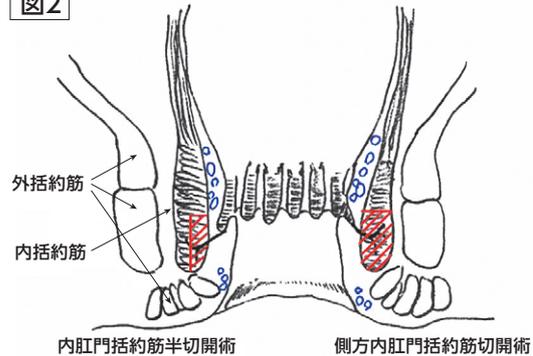
#### 手術する前に必要な検査は何ですか

肛門鏡で裂肛の部位とともに、ポリープや皮膚の余りの有無をみる必要があります。また、内肛門括約筋の緊張を評価するために、肛門内圧検査が必要です。

#### 慢性裂肛にはどのような手術をするのですか

- 1) 側方内肛門括約筋切開術：緊張している内肛門括約筋を側方で長さ10～15mmにわたって切開する手術です。大変有効ですが、手術後にガス漏れや便漏れの危険があることが指摘されています(図2)。

図2



- 2) 内肛門括約筋半切開術：側方内肛門括約筋切開術で生じるガス漏れや便漏れの危険を緩和する手術として行っています。裂肛部分の内肛門括約筋を長さ10～15mmにわたってその厚みの半分まで切開する方法です(図2左)。
- 3) 肛門形成術：慢性裂肛のために肛門が狭くなった場合に行います。肛門の皮膚を裂肛部分に移動させて、縫い付ける方法が一般的です。

#### 入院期間はどのくらいですか

手術のために行う麻酔は通常、脊椎麻酔です。この麻酔をした後は、すぐに自立歩行ができませんので、どの手術も最低1泊2日の入院が必要です。手術後の痛みが大きい場合には2泊3日になることがあります。

#### 退院後の通院はどうなりますか

退院後1週間または2週間後に外来受診していただきます。その後1～2回の受診が必要で、全体で2～3か月を要します。

## 医師紹介

うちこば さな 医師  
内木場紗奈



- ①担当科目
- ②診療における得意分野
- ③趣味
- ④ひと言

- ①総合内科
- ②総合内科
- ③バイオリン、ピアノ、弓道、ランニング
- ④皆様のお力になれるようベストを尽くしますので、一緒にがんばっていきましょう



Kameda Medical Center

亀田ホームページ <http://www.kameda.com>